

【22_221技術系メルマガ】トレードは「迷ったら負ける」と思え

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

僕が「エントリー」を行う上で、いつも大事にしないといけないと考える要素は
主に2つあるのですが、それは

・目線の固定

・短期足のセットアップ

この両者の判断に一貫性を持たせることです。(いつも同じ事ばかり言ってますね僕 笑)

今回は、しばらく『目線』について言及していなかった気がするので

思い出しがてら、昔の記事を読み直しつつ

改めてその重要性と、意識する事のメリットについてまとめてみたいと思います。



『目線』は、自分の現在地を知る地図のような役割

まず、参考までに一読してほしい過去のブログ記事を載せておきます。

▼過去のブログ記事より『目線の固定』について▼

https://kuro-gaki.com/blog_220111/#MA

ここに、テクニック的な要素は網羅してあるので

メルマガの方では、また少し角度を変えながら補足説明をしていきます。

サブタイトルにも書いたように、トレードにおいて『目線』を決めるというのは自分がチャート上の『どの立場にあるのか』を把握する基準となるものです。

もちろん、その基準次第で置かれる立場は変わってきますが、大事なのは『自分の基準で考えた時にどうなのか?』ということです。

同じチャートを見ても、考え方の違いによって

ある人にとっては『ショート優勢の局面』でもあるし、別の人にとっては『様子見』の場面かもしれません。

「絶対の基準」が存在しない以上、これは自分で決めるしかないわけです。

自分で決めておかないといけないのに、それをしないでいると当然

いざチャートを前にしてエントリープランを立てる時に「迷い」が生じます。

そして、迷いながらエントリーした挙句、それで結果負けてしまったときはもう悲惨です。

そこからリベンジエントリーを繰り返したり、もっと悪くするとドテンのエントリーで往復ビンタされるなどという苦い経験をした人も少なくないのではないでしょうか。

それを抑止するためのひとつの考え方が、『目線を固定』することなのです。

僕は、この目線を決める基準というのを『トレンド』と『水平線・MAとの位置関係』で決めています。

トレードしたい方向に邪魔が少なく、空間が広い方に向かって『セットアップ(収縮・3波)』が整うのを待つ。

言葉にすると、たったそれだけのことなのですが

この行間に含まれる情報の量が多いから、練習が必要だし、習得にも時間を要します。

ですが、これを一度覚えて、自分の感覚に落とし込むことができれば

トレードの大半は『待つ』ことこそが、作業の大半を占めることも実感が出来るようになっているはずです。

これは、知識のインプットで身に付くものではなく
一貫した情報をもとに、判断する訓練(フォワードテストと振り返り)の繰り返しによって
時間と共に実感していくものです。
『リスク管理』のポリシーと組み合わせながら考えて、手を動かしてみると良いかもしれませんね。

『リスク管理』の考え方については、また機会を改めて言語化してみようと思います。